

山陽沿線 ぶらり 源平合戦の地 須磨

史跡めぐりマップ

めぐり其の一 須磨浦公園周辺

めぐり其の二 須磨周辺

③ 安徳帝内裏跡伝説地

② 源平史蹟 戦の浜碑

① 須磨浦公園

⑤ 東部展望台

④ 敦盛塚

⑫ 須磨寺 (福祥寺)

⑬ 松風村雨堂

⑪ 平重衡 とらわれの松跡

⑧ 関守稻荷神社 (須磨の関跡)

⑨ 現光寺

⑩ 綱敷天満宮

⑦ 村上帝社

山陽電車 本線

山陽姫路

山陽網干

大塩

高砂

東一見

山陽電車 本線

山陽明石

舞子公園

山陽垂水

須磨浦公園

山陽須磨

月見山

板宿

阪急電車

阪急神戸三宮

阪急大阪梅田

花隈

阪神大阪梅田

新開地

阪神神戸三宮

阪神電車

阪神御影

角屋

西宮

甲子園

西九条

尼崎

大阪難波

◎山陽須磨駅へのアクセス

- 大阪・三宮方面から
山陽姫路行き直通特急に乗車、山陽須磨駅下車
- 明石・姫路方面から
阪神大阪梅田行き直通特急に乗車、山陽須磨駅下車

◎須磨浦公園駅へのアクセス

- 大阪・三宮方面から
山陽姫路行き直通特急に乗車、山陽須磨で普通車に乗り換え須磨浦公園駅下車
または須磨浦公園行きの特急に乗車、須磨浦公園駅下車(阪神神戸三宮から各駅に停車します)
- 明石・姫路方面から
阪神大阪梅田行き直通特急に乗車、山陽垂水で普通車に乗り換え須磨浦公園駅下車



鉄道営業部 営業課 TEL.078-940-5132

ご案内センター(明石) TEL.078-913-2880

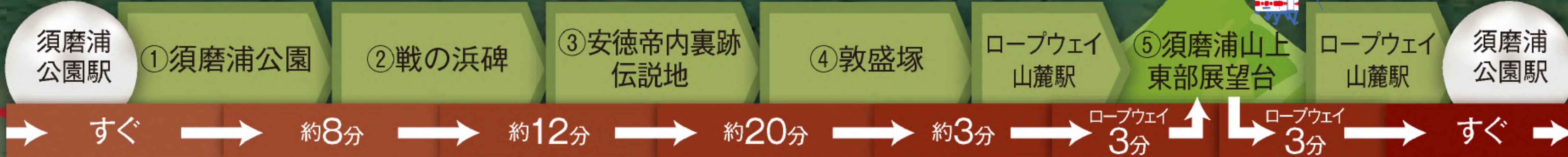
(8:30 ~ 17:30 平日のみ)

(8:30 ~ 20:00 年中無休)

源平合戦の地、一の谷と悲運の若武者 平敦盛に思いを馳せる



めぐり其の一 須磨浦公園周辺



① 須磨浦公園

源氏物語「須磨の帖」の舞台であり、源平の「一の谷合戦」ゆかりの地でもあります。桜の名所としても知られています。芭蕉、蕪村等の句碑が点在しています。

◆山陽電車「須磨浦公園駅」下車 すぐ



② 源平の史蹟 戦の浜碑

一の谷から西一帯の海岸は、源平の戦いにおける「一の谷の合戦」の舞台となったことから「戦の浜」といわれています。毎年決戦のあった2月7日の夜明けには、軍馬がいなく声が聞こえるという言い伝えもあります。

◆山陽電車「須磨浦公園駅」から東へ、徒歩約8分



③ 安徳帝内裏跡伝説地

安徳天皇は、平清盛の娘の建礼門院徳子を母として生まれた悲劇の幼帝です。この伝説地には、一時内裏がおかれたとの言い伝えがあり、安徳天皇の冥福を祈って安徳宮がまつられています。

◆山陽電車「須磨浦公園駅」から北東へ、徒歩約20分



④ 敦盛塚

平敦盛の供養のため建てられたという大きな五輪塔。北条貞時が平家一門を供養するために建立し、「あつめ塚」といわれていたものが「あつもり塚」と呼ばれるようになったという説もあります。

◆山陽電車「須磨浦公園駅」から西へ、徒歩約3分



⑤ 須磨浦山上 東部展望台

海拔246mの鉢伏山から旗振山にかけて広がる須磨浦山上からは、源平合戦の舞台になった須磨海岸から淡路島、大阪を一望できます。また、緑豊かな自然のなか、四季を通じてさまざまな植物が楽しめます。

◆山陽電車「須磨浦公園駅」から、ロープウェイ「鉢伏山上駅」下車



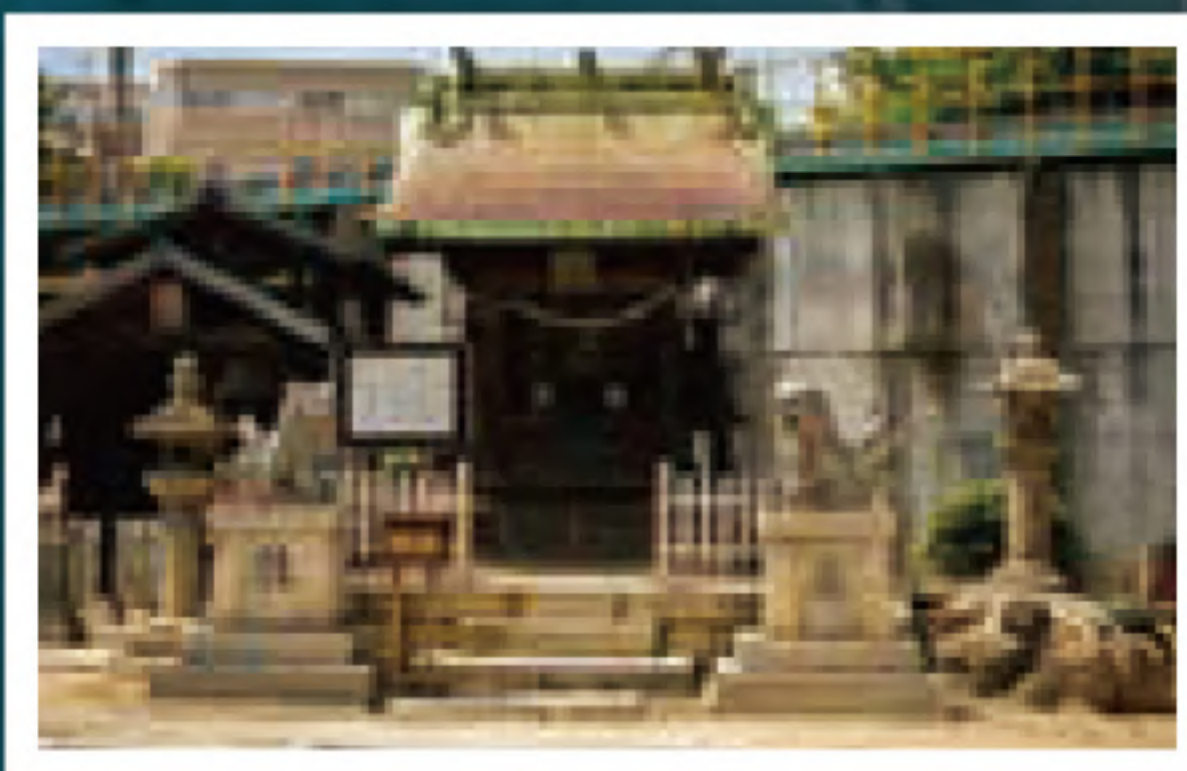
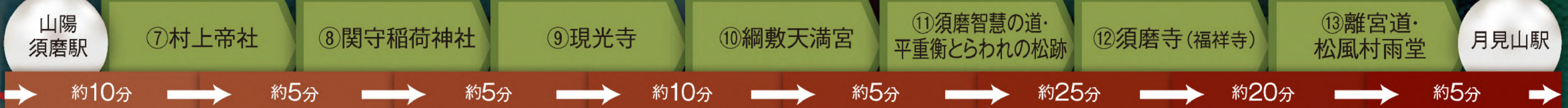
⑥ 鶴越の逆落とし

一の谷の合戦で源義経が崖のような急斜面を馬で駆け下り、平氏の軍勢を急襲した伝説の作戦。逆落としの場所は諸説あり、専門家の間でも意見が分かれています。須磨浦ロープウェイからは逆落としが行われたとされる鉢伏山の斜面を見ることができます。

源平合戦や源氏物語にゆかりのある史跡もめぐる



めぐり其の二 須磨周辺



⑦ 村上帝社

村上天皇をまつっています。平安時代の琵琶の名人藤原師長は、中国に渡り琵琶の奥義をさわめたいと願い、須磨へ来ました。須磨に泊まった夜、村上天皇と梨壺女御の霊が現れ、師長に琵琶の奥義を伝えたため、師長は中国行をやめたと伝えられています。

◆山陽電車「須磨駅」から東へ、徒歩約5分



⑧ 関守稲荷神社(須磨の関跡)

関守稲荷神社は、須磨の関の守護神としてまつられたと伝えられ、境内に百人一首で知られる源兼昌の歌碑があります。須磨の関跡の地としては、現光寺の地、多井畑など諸説あります。

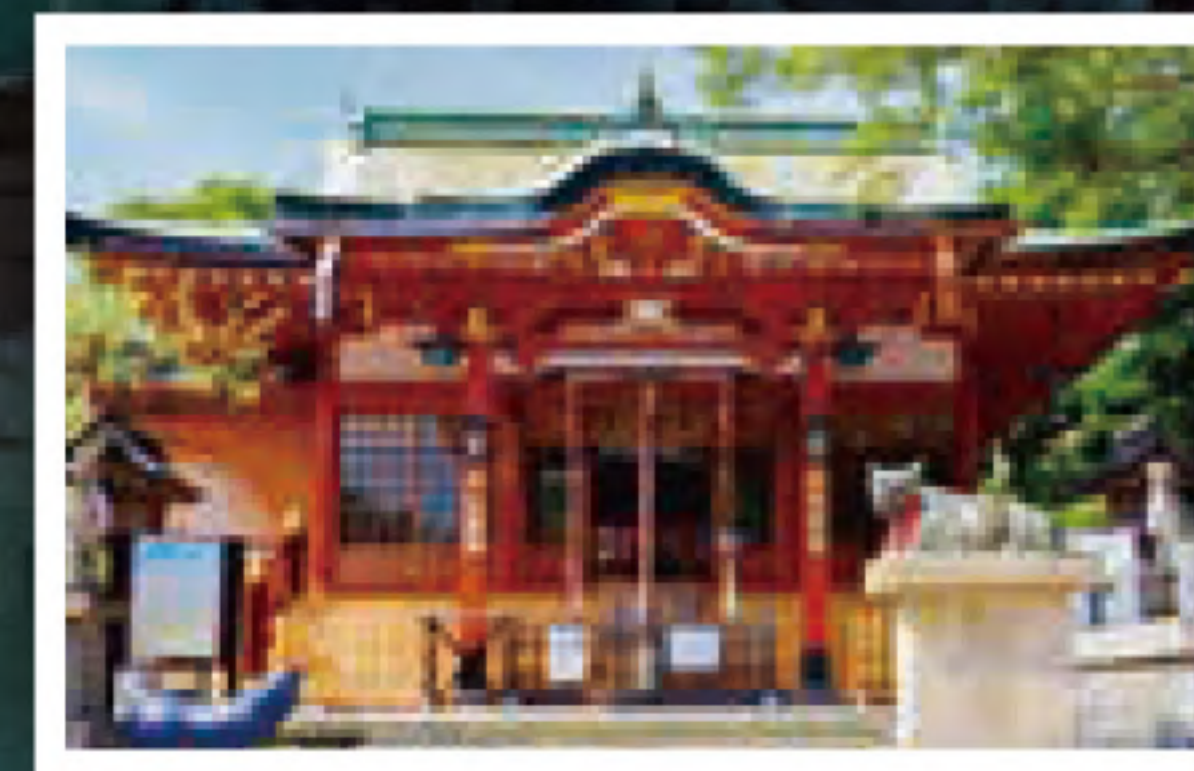
◆山陽電車「須磨駅」から北東へ、徒歩約8分



⑨ 現光寺

源氏物語の主人公光源氏の住居跡と伝えられ、もとは「源氏寺」ともいわれていました。境内には芭蕉や子規の句碑があります。寺の近くに「藩架」や「ヤグラ」という字名が残されていることにより、古代の須磨の関跡だともいわれています。

◆山陽電車「須磨駅」から東へ、徒歩約7分



⑩ 綱敷天満宮

学問の神さま、菅原道真が天満天神としてまつられています。「なすの腰かけ」や回して願う「思うつぼ」などの願掛けのできるスポットがたくさん!

◆山陽電車「須磨寺駅」から南へ、徒歩約5分



⑪ 平重衡 とらわれの松跡

源平合戦に際して、平重衡(清盛の五男)は源氏の軍勢を防ぎきれず、西へ逃走したが、西須磨で源範頼の家来に生け捕られてしまいました。松の根に腰をおろして無念の涙を流す重衡を見て、村人が濁酒を一杯差し上げたところ、非常によろこんで一首を詠んだと伝えられています。

◆山陽電車「須磨寺駅」すぐ



⑫ 須磨寺(福祥寺)

本堂内の宮殿、木造の十一面観音像などの重要文化財や多数の重宝・史跡があり、境内には文学碑も点在。毎月20日・21日のお大師さんには参道に屋台が出て参詣者でにぎわいます。

◆山陽電車「須磨寺駅」から北へ、徒歩約5分



⑬ 松風村雨堂

平安時代、在原行平が須磨にわび住まいした際、多井畑の村長の娘「もしほ」と「こふじ」に出会い、二人を「松風」・「村雨」と名付けて愛しました。行平が都に帰った後、姉妹は行平の住居のかたわらに庵をむすび、行平の無事を祈りました。現在の堂は、その庵の跡だと伝えられています。

◆山陽電車「須磨寺駅」から東へ、徒歩約7分